

IV. 導入機能の検討

ここでは、機能メニューごとに先に掲げた「導入機能の基本的考え方（コンセプト）との適合性・実現性」、「既存施設の立地状況」及び「事業者ヒアリング結果」を踏まえて、当該地区に導入すべき機能の検討を行いました。機能メニューは「都市計画運用指針（Ⅳ-1-3立地適正化計画）」及び「立地適正化計画の作成に係るQ&A」等を参考に抽出・分類

機能メニュー (上段：都市レベル 下段：生活レベル)		選定条件	コンセプトとの適合性・実現性 (○：コンセプトに合致 △：機能内容により合致 -：合致しない)			名古屋駅周辺・当該地区周辺 における立地状況等 (○：対象となる -：対象とならない)	導入 対象	事業者等ヒアリング結果 からみた立地可能性 (○：導入を検討する機能、△：条件により導入を 検討する機能、×：導入を検討しない機能)	総合 評価
			健康	安全 安心	交流				
医療機能	<ul style="list-style-type: none"> 病院 診療所、クリニック等 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性が高い駅前に立地することにより、車を運転できない子どもや高齢者をはじめ、あらゆる市民の安心な暮らしや高齢者の健康づくりを支えることができる。 	○	○	-	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県地域保健医療計画に定める基準病床数をやや下回っているものの、当該地区南西約2kmの位置に稲沢市民病院が立地しており、可能性は低い。 診療所等も既に周辺に多数立地している。 	-	×	
高齢者 福祉機能	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人福祉施設（特養） 地域包括支援センター等 通所型介護施設等 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性が高い駅前に立地することにより、高齢者の快適な暮らし（健幸づくり）を支えることができる。 若年・子育て世代にとっても、老後の安心感の向上につながり、定住（永住）意識を高めることが期待できる。 高齢者が地域で気軽に通える交流の場（サロン）づくりが期待でき、イベントでは地域交流、入所者同士の交流が図れる。 	○	○	△	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームの入所定員見込み数は、愛知県高齢者保健福祉計画で定める目標定員があり可能性は低い。 ⇒目標枠のない通所型介護施設等であれば導入対象として想定可 	○	△	
子育て 支援機能	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センター等 保育所等 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の駅前立地により、共働き世帯をはじめ若年・子育て世代の安心感の向上につながるとともに、市の魅力が高まり、さらなる定住の促進につながることも期待できる。 保育園のイベントに高齢者を招き、高齢者の心のケアや、認知症防止、生きがいの創出が期待できる。 	△	○	△	<ul style="list-style-type: none"> 市の計画では新規立地は見込んでおらず、当該地区周辺にも複数立地がみられるものの、0～2歳児までの空きがほとんどない状況。 ⇒民間施設であれば導入対象として想定可 	○	△	
健康増進 機能	<ul style="list-style-type: none"> 総合スポーツ施設（体育館、多目的運動場等） フィットネスクラブ等 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な世代の健康づくりに寄与し、豊かな暮らしを支えることができ、既存のフィットネスロード等との連携により、相乗効果による利用増進等が期待できる。 フィットネスクラブやスポーツジムは利用者が特定の人になるが、総合スポーツ施設の場合は、市民や地域住民同士の交流の場としての活用も期待できる。 災害時の避難所等としての施設活用ができれば、市民・地域住民の安全・安心が確保される。 	○	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 市内の総合スポーツ施設は市役所周辺に多く立地しているほか、市外でも鉄道駅から離れた場所に立地しており、名駅周辺も含め駅近傍に立地する大型の総合スポーツ施設は少ない。 フィットネスクラブは商業施設に隣接あるいは商業施設内に立地する傾向にあるが、当該地区近傍には立地していない。 ⇒導入対象として想定可 	○	○	
商業機能	<ul style="list-style-type: none"> 大型小売店等 スーパーマーケット コンビニ等 	<ul style="list-style-type: none"> 集客力の向上により、交流・にぎわいの創出につながることを期待できる。 災害時における生活必需品の備蓄・供給や夜間の人通りの増加等があれば、地域住民の安心感の向上につながることも期待できる。 	-	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該地区周辺には大型小売店が複数立地していることから、可能性は低い。 ⇒コンビニ等小規模な施設であれば導入対象として想定可 	○	△	

機能メニュー (上段：都市レベル 下段：生活レベル)		選定条件	コンセプトとの適合性・実現性 (○：コンセプトに合致 △：機能内容により合致 -：合致しない)			名古屋駅周辺・当該地区周辺 における立地状況等	導入 対象	事業者等ヒアリング結果 からみた立地可能性	総合 評価
			健康	安全 安心	交流				
業務機能	・オフィス等	・業務機能の立地自体は健康や安全・安心とは結びつかないが、企業の社会貢献の一環としての 市民交流の促進や昼間人口の増加 によるにぎわいづくりは期待できる。	-	-	○	・名古屋駅周辺にオフィス等が既に立地しており立地需要・ニーズは低い	-	×	
教育機能	・大学・専門学校等 ・小中学校	・大学等の地域貢献や産学協働により、地元企業との連携、 市内小中高校との連携、地域住民との交流・多世代交流などさまざまな交流の創出 が期待できる。 ・ 医療系、福祉系、健康スポーツ系機関の立地があれば、健康づくり に向けた様々な取組みの展開が期待できる。 ・ 災害時の避難所等としての施設活用 ができれば、市民・地域住民の 安全・安心が確保 される。	△	△	○	・立地需要はあり、近年の大学の駅近への移転の状況から、可能性がある。 ・小中学校については、市の計画では新規立地は見込まない ⇒ 大学等の高次教育施設であれば導入対象として想定可	○	→ ・立地需要はあり、近年の大学の駅近への移転の状況から、可能性がある。	○
金融機能	・銀行等 ・郵便局等	・公共交通の利便性が高い駅前に立地することにより、市民や地域住民の生活利便性の向上は期待できるが、健康や安全・安心、交流促進といったコンセプトには直結しにくい。	-	-	-	-	-	×	
宿泊機能	・ホテル等	・宿泊機能の立地自体は健康や安全・安心とは結びつかないが、 コンベンション利用等による地元企業との連携等による産業・異業種交流 の促進は期待できる。 ・ 災害時の避難所等としての施設活用 ができれば、市民・地域住民の 安全・安心が確保 される。	-	△	○	・一宮駅周辺には、ビジネスクラスをはじめとする宿泊施設が複数立地 ・名古屋駅周辺にはビジネスホテルだけではなく、コンベンション機能やバンケット機能を持つ規模の大きなホテルが複数立地しており、可能性は低い	-	×	
文化 集会機能	・大規模文化集会施設 ・博物館等 ・地区集会所等	・イベント会場のほか、コンベンションや展示ホール利用等による産業・異業種交流の促進をはじめ、 幅広い集客、多様な交流の促進 が期待できる。施設内容・規模によっては、地域住民同士の交流の場としての活用も想定される。 ・文化や芸術等に身近に触れることができ、 さまざまな世代の豊かな暮らし（健康づくり） を支えることができる。 ・ 災害時の避難所等としての施設活用 ができれば、市民・地域住民の 安全・安心が確保 される。	○	△	○	・市内、周辺都市では、博物館は1件、美術館は複数立地しており、名古屋駅周辺においては博物館・美術館が複数立地しているほか、劇場は9件立地 ・美術館、博物館等の文化機能は名駅周辺等に多数立地しており、また集会機能の多くは自治体が設置する公的施設がほとんどであるが、民間の美術館や博物館などが活用意向を示せば可能性はある。	○	→ ・市の計画では新規の施設立地は見込まない。ただし、民間の美術館や博物館などが活用意向を示せば可能性はある。	△



「コンセプトとの適合性・実現性」及び「名古屋駅周辺・当該地区周辺における立地状況等」から設定した『導入対象機能』について、当該機能の「事業者等ヒアリング結果からみた立地可能性」を踏まえ、当該地区における導入機能を以下のように選定しました。

【メイン機能】 健康増進機能（大型スポーツ施設）、教育機能（大学等高次教育施設）、文化集会機能（大規模文化集会施設・博物館等）については、単体での立地が見込まれることから、主たる導入機能として選定する。

【サブ的機能】 子育て支援機能（民間保育所）、高齢者福祉機能（介護老人福祉施設）及び商業機能（コンビニ等）については、単体での立地が困難であることから、メイン機能を補完するサブ的導入機能として選定する。

